

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひなたスコール（放課後デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		～	2025年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放デイ:43名	(回答者数)	放デイ:30名
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～	2025年3月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○WISC-IVや新版K式、K-ABCなど、医療機関等で受検された検査結果とご家庭からの聞き取り、園や学校での様子を総合的にアセスメントとして、事業所で課題設定を行っている。	○ご利用前の面談などを通じて、現在の困りごと、ご家族が期待されることなど聞き取りしている。その聞き取り内容と持参して下さる検査結果を踏まえて、課題設定や個別の支援計画を立案している。	○ご持参いただくことが多い心理検査や発達検査の読み取りを全ての職員ができるように、研修会をしている。チームでアセスメント行うことで、より多角的な課題設定ができると考えている。
2	○同法人内に、相談支援事業所、保育所等訪問支援事業所があることで、情報を共有し、よりご家庭のニーズや対象児の実態に応じた課題設定をし、適切な支援を導入できる。	○家庭や所属している学校の様子、置かれている環境を知ること、ご家族のニーズに対応した療育を実施していける。	○ご家族や所属先の担当の先生を事業所に招致し、課題や支援方法の共通理解を図っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○学校の先生方へ、療育内容、支援方法の周知をする機会が少ない。	○先生方が来所できる時間帯が限られていること。。	○長期休業中を中心に、学校へ事業所の来所案内をお送りしていく。
2	○送迎を行っていないため、ご家族の就労などが障壁となり、ご利用いただけないケースがある。		○今のところ、送迎は考えていない。
3	○対象児が安心して、療育から卒業できるようなシステム作りが不十分であること。	○対象児の放課後の居場所づくりという観点もあり、課題達成の見極めが難しい。	○ご利用時に実施しているアセスメント表を活用し、定期的に変化を記入して行くことで、課題達成度を視覚化していく。